

Pioneer



マルチCD/MDコントロールチューナーMDアンプ

MEH-P5500

取扱説明書

carrozeria

目次 4ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

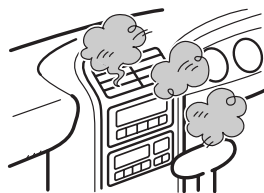
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに はじめに

- 1 各部のなまえ 6
- 2 別売のリモコンを使う 7

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 8
- 2 内蔵MDのふだんの操作 10
 - MDをセットする
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
 - MDを取り出す
- 3 ラジオのふだんの操作 12
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
 - 音量を調節する
- 4 マルチCDのふだんの操作 14
 - CDを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する

内蔵MD 内蔵MDでMDを聞く

- 1 モードの切り換えかた 16
- 2 同じ曲を繰り返し聞く 16
- 3 いつもと違う曲順で聞く 17
- 4 MD再生を一時停止する 17
- 5 聞きたい曲をさがす 18
- 6 MDのタイトルを表示させる 19

ラジオ ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を自動的に記憶させる 20
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 21
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 21
- 4 モードの切り換えかた 22
- 5 放送局名を記憶させる 22
- 6 放送局名を表示させる 23

マルチCD マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚) 24
- 2 おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚) 24
- 3 モードの切り換えかた 25
- 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く 26
- 5 聞きたい曲やCDをさがす 27
- 6 いつもと違う曲順で聞く 28
- 7 聞きたい曲だけ記憶させておく 29
- 8 記憶させた曲だけ再生する 30
- 9 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 31
- 10 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 31
- 11 CDのタイトルを記憶させる 32
- 12 「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる 34
- 13 CDのタイトルを表示させる 35
- 14 タイトルを見て聞きたいCDをさがす 35
- 15 CD再生を一時停止する 36
- 16 CDの音質を調整する 37

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

音の調節

音を調節する

- | | | |
|---|----------------------------|----|
| 1 | イコライザーカーブを選ぶ | 38 |
| 2 | オーディオ調節モードの
切り換えかた | 38 |
| 3 | 前後左右の音量バランスを
調節する | 39 |
| 4 | 小音量時の音にメリハリをつける | 39 |
| 5 | お好みに合わせてイコライザー
カーブを調節する | 40 |
| 6 | イコライザーカーブを細かく
調節する | 41 |
| 7 | 各ソースの音量の違いをそろえる | 42 |
| 8 | 前にステージがあるような
感じにする | 43 |

はじめに

内蔵MDでMDを聞く

ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

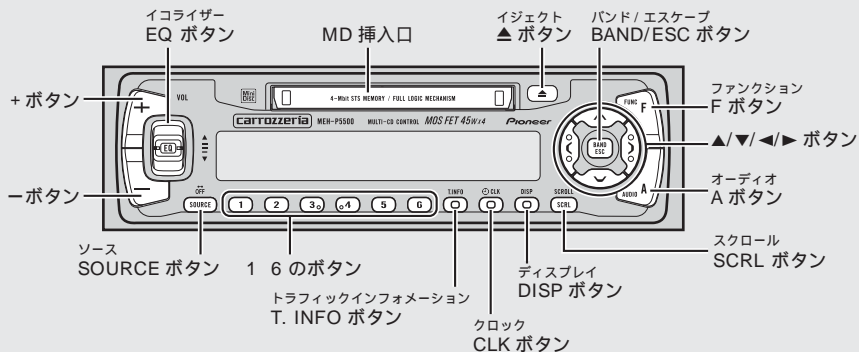
その他の機能と付録

その他

その他の機能と付録

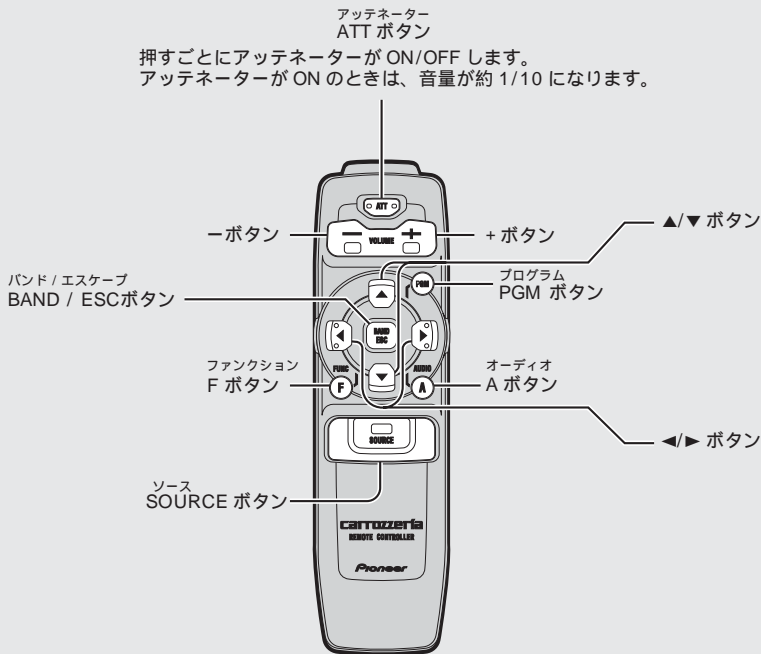
- | | | |
|----|-------------------------|----|
| 1 | よく使う機能を学習させる | 44 |
| 2 | 時計を表示させる | 45 |
| 3 | 交通情報を受信する | 46 |
| 4 | 初期設定モードの切り換えかた | 47 |
| 5 | 時計を合わせる | 47 |
| 6 | 外部機器の音声を聞く | 48 |
| 7 | 外部機器の名称を入力する | 49 |
| 8 | 瞬時に音量を小さくする | 49 |
| 9 | 夜間のディスプレイの
明るさを切り換える | 50 |
| 10 | ミュート機能について | 50 |
| 11 | MDの正しい使いかた | 51 |
| 12 | 故障かな?と思ったら | 52 |
| 13 | こんなメッセージが表示されたら | 54 |
| 14 | 保証書とアフターサービス | 55 |
| 15 | 本機の操作の概要 | 56 |
| 16 | おもな仕様 | 58 |

本機「MEH-P5500」



別売のリモコン「CD-R600」について

別売のリモコン「CD-R600」で、本機を操作することができます。
リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



メモ

別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR77」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。

ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

1 枚型 CD (別売)

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

内蔵 MD

マルチ MD (別売)

マルチ CD (別売)

EXT (エクスターナルユニット) (別売)

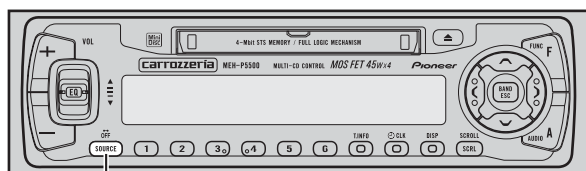
AUX (外部機器) (別売)

1 枚型 CD に戻る

2 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す

本機の電源が切れます。



ソース
SOURCE ボタン

メモ

接続していないソースには切り換わりません。CDやMDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

AUX (外部機器) の設定 (⑥ 其他 ④ 48 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。

EXT (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機で EXT (エクスターナルユニット) としてコントロールできる製品は1台だけです。

本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。

テレビ、1枚型CD、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7000W」
1枚型CD	「CDS-P5000」
マルチMD	「MD-P100II」

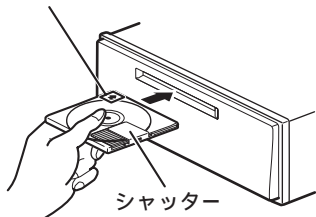
上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

ここだけの操作で、MDを聞くことができます。

1 MDを セットする

MDのラベル面を上にして、挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます。



確認

MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

MDを挿入すると、本機はMDから曲数などの情報を読みとります。この間、ディスプレイには「TOC READ」が表示されます。

MDの再生が始まります。



再生経過時間

MDをセットしたときや、他のソースから内蔵MDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。



2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。

メ モ

MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。(☞ ここだけで① 8ページ)

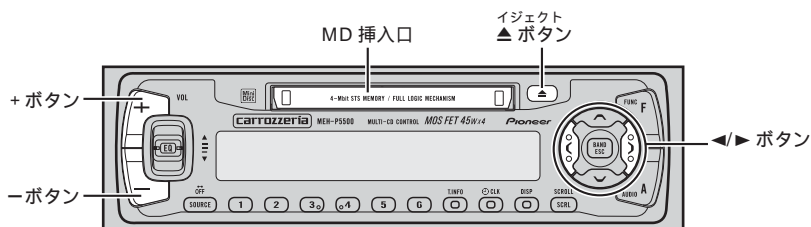
早送り/早戻しをする

音量を調節する

MDを取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



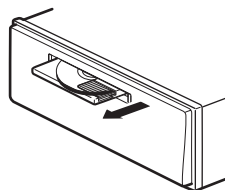
0 ~ 30 の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

4 MDを取り出してMD再生をやめる

▲ ボタンを押す

MDが出てきます。



出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを ラジオにする

SOURCE ボタンを押す

ラジオを受信します。



2 バンドを 選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

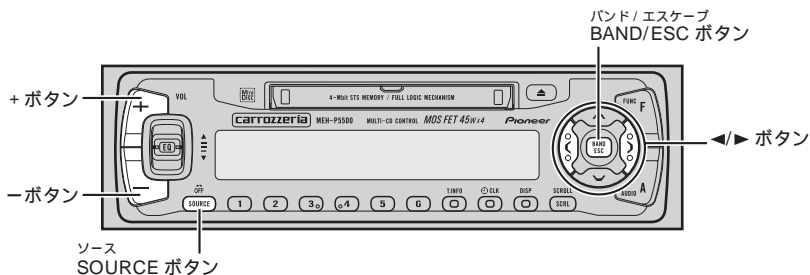
F1 (FM 1) F2 (FM 2) A1 (AM 1) A2 (AM 2)



バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(ラジオ①②20、21ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

ステレオ放送を受信すると表示されます。

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を 調節する

+ または - ボタンを押す

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき



0 ~ 30 の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 8ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す

マルチCDの再生が始まります。



再生経過時間

2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次のCDを選ぶとき

▼ : 前のCDを選ぶとき



CD 番号

メモ

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。

50連奏マルチCDを操作する場合は、準備動作が終了していないと“NOT READY”と表示され動作しない機能があります。その場合は、50連奏マルチCD以外のソースに切り換えてください。その間に自動的に準備動作を行います。

本機に、50連奏マルチCDプレーヤー「CDX-P5000」を接続しても、次の機能は操作できません。

* ミュージックグループ別プレイ

* 演奏頻度別プレイ

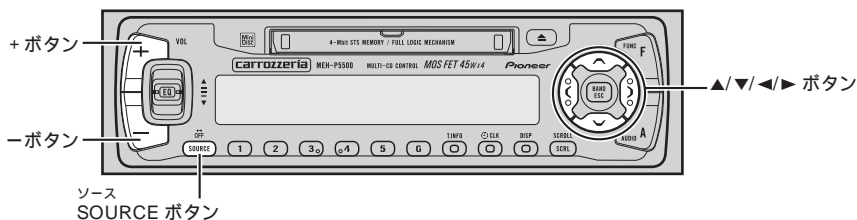
* “ABC” ディスクタイトルサーチプレイ

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAG”が表示されます。

早送り/早戻しをする 音量を調節する

ディスクサーチ / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

4 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき

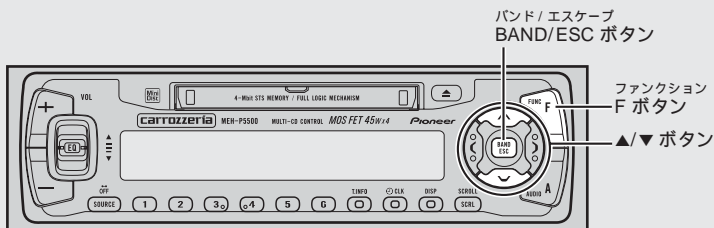


0 ~ 30 の範囲で調節できます。

約 4 秒間、音量が表示されます。

5 マルチ CD 再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源 OFF にする (☞ ここだけで① 8 ページ)



内蔵MD
1

モードの切り換え かた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを 切り換える

Fボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (E3 内蔵MD②)

ランダムモード (E3 内蔵MD③)

スキャンモード (E3 内蔵MD⑥ 18 ページ)

ポーズモード (E3 内蔵MD④)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND/ESCボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

内蔵MD
2

同じ曲を繰り返し 聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(E3 内蔵MD①)



2 リピート再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

内蔵MD

3

いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をMDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 ランダムモードにする

Fボタンを押して選ぶ
( 内蔵MD①)



2 ランダム再生をONにする

▲ボタンを押す(▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

内蔵MD

4

MD再生を一時停止 する

ポーズ

MD再生を一時停止することができます。

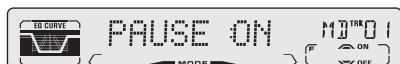
1 ポーズモードにする

Fボタンを押して選ぶ
( 内蔵MD①)



2 MD再生を一時停止する

▲ボタンを押す(▼ボタンで再生)

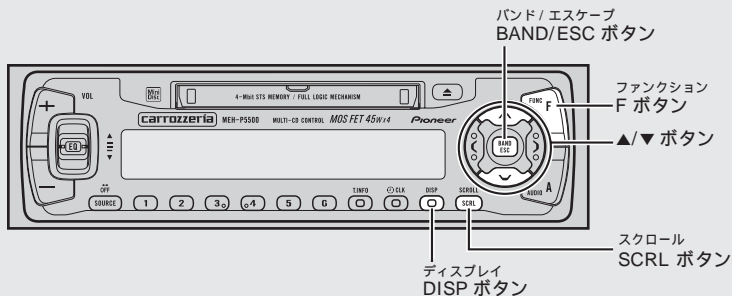


BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

内蔵MDでMDを聞く



内蔵MD
5

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(内蔵MD ① 16ページ)



2 スキャン再生を始める

▲ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



曲名表示の後、スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

MDのタイトルを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

再生経過時間の表示以外に、ディスク名や曲名を表示させることができます。ディスク名や曲名は一度に10文字までしか表示されませんが、隠れている文字を順に表示させることもできます。

表示切り換え

タイトル表示について

再生経過時間表示は、ランダム、スキップ再生を行うと、それぞれのON/OFFの状態を示す表示が変わります。

本機はカナ文字に対応していますので、カナやアルファベットの小文字がそのまま表示されます。

表示をディスク名または曲名に切り換えたときに、隠れているタイトルを自動的に1回スクロール表示します。

ディスク名が入力されていない場合は、ディスク名表示が“NO D-DATA”になります。曲名が入力されていない場合は、曲名表示が“NO TR-DATA”になります。

隠れているタイトルを表示する

1 隠れているタイトルを表示する

SCRL ボタンを押す



隠れている文字が順番に表示されていきます。

1 表示を切り換える

DISP ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

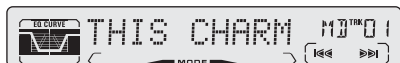
再生経過時間表示



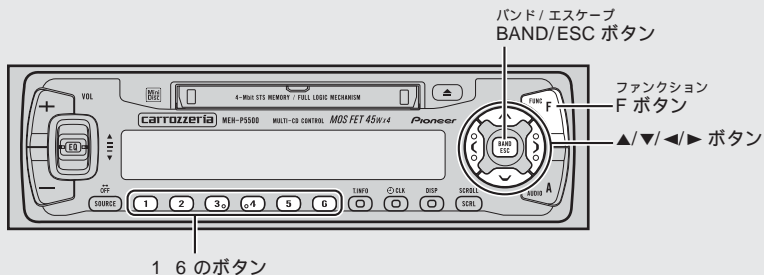
ディスク名表示



曲名表示



再生経過時間表示に戻る

ラジオ
1

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す
(ここだけで④ 12ページ)

2 BSM モードにする

F ボタンを押す



3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。

記憶が終わると点滅が終わり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



受信中の記憶番号

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ④)

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

(☞ ここだけで③ 12ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 13ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号(記憶番号)が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ④)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

(☞ ここだけで③ 12ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1～6のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

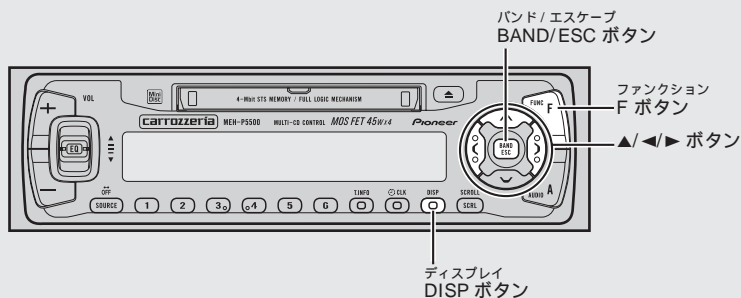
▲または▼ ボタンを押す

▲: 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼: 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号



ラジオ
4

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

F ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

放送局名モード
(ラジオ⑤)

プログラムファンクション設定モード
(その他① 44 ページ)

放送局名モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。

ラジオ
5

放送局名を記憶させる

放送局名記憶

ラジオの放送局名を表示させるために、あらかじめ放送局名を記憶させておきます。

放送局名表示について

放送局名表示は、受信中の周波数に該当する放送局名を記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

FMで12局分、AMで12局分記憶することができます。

記憶できる局数を超えたときは、いちばん古い記憶が消去されます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す
(ここだけで③ 12 ページ)

2 放送局名を表示させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(ここだけで④ 13 ページ)

3 放送局名モードにする

F ボタンを 2 秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (ラジオ④)



約 2 秒間表示されます。

放送局名記憶で記憶させた放送局名を表示させることができます。

4 放送局名を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の放送局名を選ぶとき

◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

5 放送局名を記憶させる

▲ ボタンを押す



BAND/ESC ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、「NO DATA」と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、「-----」（全て空白）を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD（「CDX-FM653Sなど」）をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、「FM M-CD」の放送局名を選ぶことができます。

7 表示を切り換える

DISP ボタンを押す

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

放送局名表示



記憶した放送局名

受信周波数表示

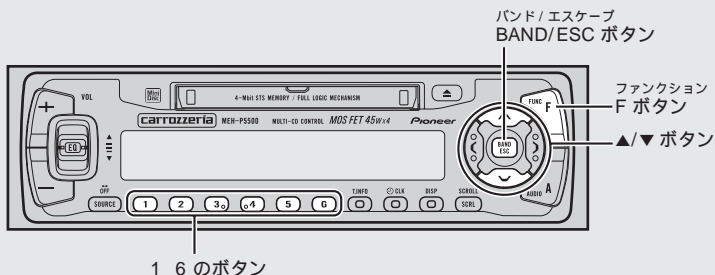


受信周波数

放送局名表示に戻る

メモ

放送局名が記憶されていない周波数は、放送局名表示には切り換わりません。



マルチCD
1

聞きたいCDを
直接選ぶ (6/12枚)

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDを選ぶ

1～6のボタンを押す

2秒未満：1～6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7～12枚目のCDを選ぶとき



マルチCD
2

おおまかに選んでから聞
きたいCDを選ぶ (50枚)

ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることが
できます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1～5のボタンを押す

1：10～19枚目のCDを選ぶとき

2：20～29枚目のCDを選ぶとき

3：30～39枚目のCDを選ぶとき

4：40～49枚目のCDを選ぶとき

5：50、51枚目のCDを選ぶとき



2 聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、“LOAD”が表示されます。(※ 50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (🔊 マルチCD④ 26ページ)

タイトルリストモード
(🔊 マルチCD⑩ 35ページ)

ランダムモード (🔊 マルチCD⑥ 28ページ)

スキャンモード (🔊 マルチCD⑤ 27ページ)

ITS再生モード (🔊 マルチCD③ 30ページ)

ポーズモード (🔊 マルチCD⑮ 36ページ)

COMP切り換えモード
(🔊 マルチCD⑯ 37ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND/ESCボタンを押します。

(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード
(🔊 マルチCD① 32ページ)

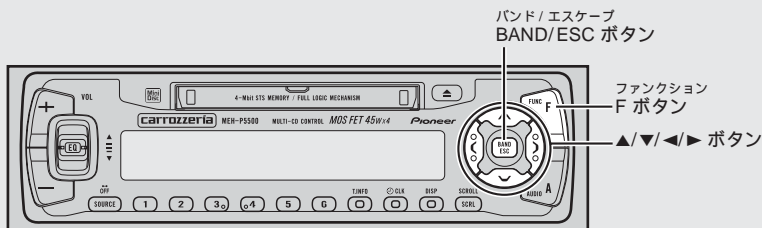
ITS入力モード (🔊 マルチCD⑦ 29ページ)

プログラムファンクション設定モード
(🔊 その他① 44ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND/ESCボタンを押します。



マルチCD
4

同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



トラックリピートのときに表示されます。ディスクリピートのときは、“DISC”と表示されます。

TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

1 リピートモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(マルチCD ② 25ページ)



BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして 再生範囲を選ぶ (※ マルチCD④)

聞きたい曲をさがすとき

(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートまたはトラックリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき

(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(※ マルチCD④ 25ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生の種類が表示されます。

表示 (スキャン再生の種類)	再生範囲
TRACK SCAN	ディスクリピート
DISC SCAN	マルチCDリピート

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す

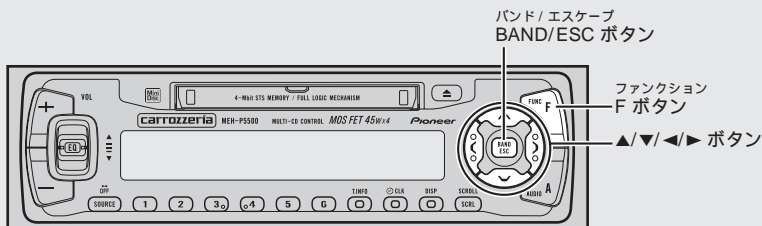


BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切りかわりスキャン再生します。



マルチCD 6 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ

(マルチCD 4 26ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(マルチCD 3 25ページ)



3 ランダム再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリPEATに切り換わりランダム再生します。

聞きたい曲だけ再生する(☞ マルチCD ③ 30ページ)のために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させることができます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する(☞ マルチCD ③ 30ページ)機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。

(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は、記憶できません。)

ITSは、タイトル(☞ マルチCD ① 32ページ)と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

4 記憶させる

▲ ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BAND/ESCボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 14ページ)

2 ITS入力モードにする

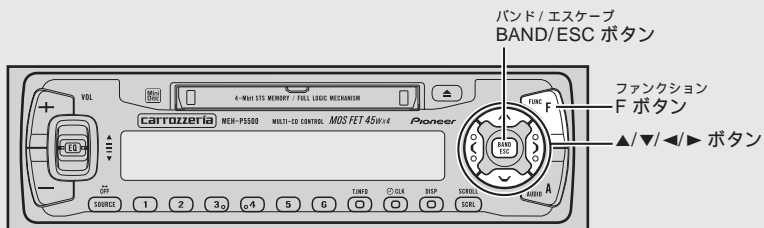
Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ(☞ マルチCD ③ 25ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 15ページ)



マルチCD
8

記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (マールチCD 7 29ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ

(マールチCD 4 26ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(マールチCD 3 25ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

マルチCD

9

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(マルチCD ②)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ボタンを押す

(ここだけで④ 15ページ)

3 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (マルチCD ③ 25ページ)



4 消去する

▼ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND/ESCボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

マルチCD

10

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(ここだけで④ 14ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。

2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (マルチCD ③ 25ページ)



3 消去する

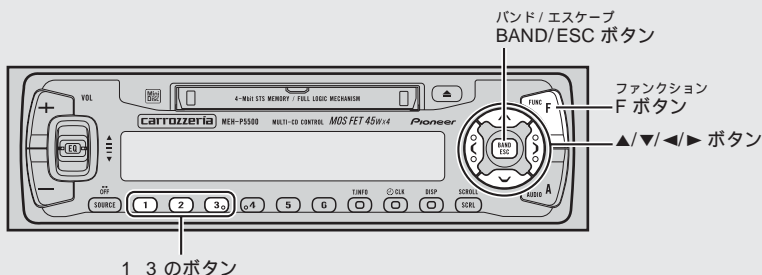
▼ボタンを押す



約2秒間表示され、消去されたことを知らせます。

BAND/ESCボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く



マルチCD 11 CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (☞マルチCD⑩ 35ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (☞マルチCD⑩ 35ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

タイトルは10文字まで入力できます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、「CD TEXT」にタイトルを入力することはできません。

タイトルは、ITS (☞マルチCD⑦ 29ページ)

と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。

CDを取り出しても消えません。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(☞ここだけで④ 14ページ)

2 タイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (☞マルチCD③ 25ページ)



約2秒間表示されます。

ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P650」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルは変更できません。)

3 文字モードを切り換える

1のボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

大文字 (A ~ Z)、記号 (!、#、&など)、
数字 (0 ~ 9)

小文字 (a ~ z)

大文字 (A ~ Z)、記号 (!、#、& など)、
数字 (0 ~ 9) に戻る

2のボタンを押す

数字 (0 ~ 9)、記号 (!、#、& など)

3のボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

カタカナ (ア ~ ン)

カタカナの拗促音 (ア、ツ、ヨ など)、濁点、
半濁点

カタカナ (ア ~ ン) に戻る

4 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき



10文字まで入力できます。

5 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、
10文字目を点滅させます。

6 入力したタイトルを記憶する

▶ボタンを押す

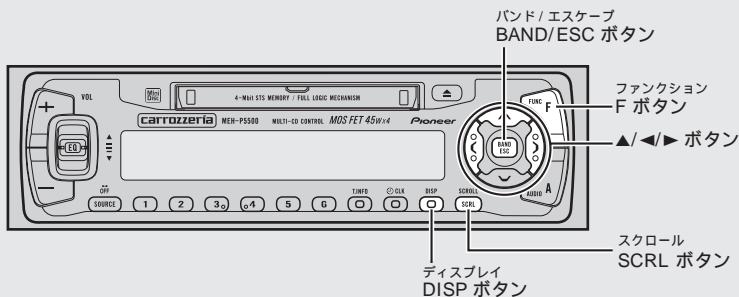


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND/ESCボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND/ESCボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



マルチCD 12 「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P650」など）に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトル（ディスク名）などを表示させることができます。一度に10文字までしか表示されませんが、隠れている文字を順に表示させることもできます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P650」など）の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）



再生経過時間表示



例) ディスクタイトル表示



再生中の「CD TEXT」に記憶されているディスクタイトルが表示されます。

1 表示を切り換える

DISPボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
再生経過時間表示

ディスクタイトル（ディスク名）

ディスクアーティストネーム（歌手名）

トラックタイトル（曲名）

トラックアーティストネーム（歌手名）

再生経過時間表示に戻る

2 隠れているタイトルを表示する

SCRLボタンを押す



隠れている文字が順番に表示されていきます。

メモ

トラックアーティストネーム（歌手名）などが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO TA-NAME」などが表示されます。

CDのタイトルを
表示させる

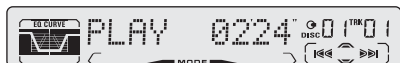
ディスクタイトル表示

タイトル入力 (E3 マルチCD ① 32ページ) で記憶させたCDのタイトルを、表示させることができます。

1 表示を切り換える

DISPボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
再生経過時間表示



タイトル表示



入力したタイトル

再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(E3 マルチCD ② 25ページ)



約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

◀または▶ボタンを押す

- ▶: 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀: 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが CD 番号が
表示されます。 点滅します。

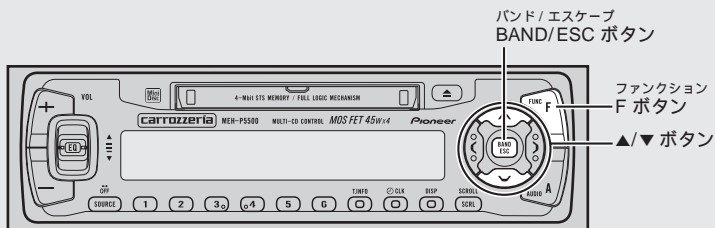
3 選んだCDを再生する

▲ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



マルチCD 15 CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(マルチCD 25ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP / DBE機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

COMPについて

COMPとは、COMPRESSION (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(E38 マルチCD 25ページ)



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示されて、操作ができません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

OFF

COMP 1 (コンプレッション1)

COMP 2 (コンプレッション2)

OFF

DBE 1

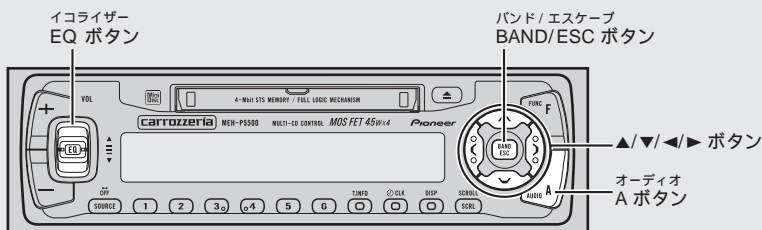
DBE 2

最初のOFFに戻る

BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

音の調節
1イコライザーカーブ
を選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好み*の*イコライザーカーブを選ぶことができます。

1 イコライザーカーブを
切り換える

EQボタンを上下に動かす



EQボタンを上下に動かすと次のように切り換わります。

POWERFUL	SUPER BASS
NATURAL	EQ FLAT
VOCAL	CUSTOM (<small>音の調節</small> 5 40ページ)

メモ

“CUSTOM”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。交通情報 (音の調節 46ページ)を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

音の調節
2オーディオ調節モードの
切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードを
切り換える

Aボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード
(音の調節 6)

イコライザー調節モード
(音の調節 5 40ページ)

ラウドネスモード (音の調節 4)

FIEモード (音の調節 8 43ページ)

SLAモード (音の調節 7 42ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND/ESCボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
ラジオのFM放送を聞いているときは、SLAモードには、切り換わりません。

前後左右の音量 バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節 モードにする

Aボタンを押して選ぶ

( 音の調節②)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF15～R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL9～R9の範囲で調節できます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

小音量時の音に メリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

Aボタンを押して選ぶ

( 音の調節②)



2 ラウドネスをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

3 ラウドネスの効果を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

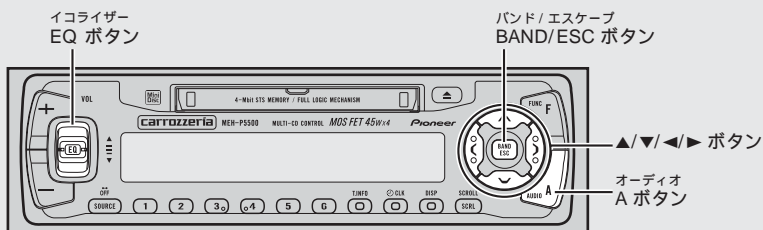
▶ : 効果を大きくするとき

◀ : 効果を小さくするとき



LOW (弱) MID (中) HI (強)
の中から選ぶことができます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

音の調節
5

お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

1 調節したいイコライザーカーブに切り換える

EQ ボタンを上下に動かす
(EQ 音の調節① 38ページ)

2 イコライザー調節モードにする

A ボタンを押して選ぶ
(EQ 音の調節② 38ページ)



3 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



LOW (低音) MID (中音) HIGH (高音)の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲: 強めるとき

▼: 弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

イコライザーカーブを調節すると、表示されます。

BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM” に記憶されます。また、イコライザーカーブ表示は、調節時に選んだイコライザーカーブが表示されます。

“CUSTOM” を選ぶには (EQ 音の調節① 38ページ)

調節した内容は、ソースごとに記憶されます。なお、内蔵MDとマルチMDおよび1枚型CDとマルチCDは同じ設定になります。

交通情報 (EQ その他④ 46ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブには3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節することができます。(調節した内容は、“CUSTOM”に記憶されます。)

1 イコライザーカーブ詳細設定モードにする

Aボタンを2秒以上押す



選んだバンドのQファクター(イコライザーカーブの傾き)を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



2N、1N、1W、2Wの中から選ぶことができます。

BAND/ESCボタンを押して、イコライザーカーブ詳細設定モードを解除してください。

メモ

交通情報(☞ ③ 46ページ)を受信しているときは、イコライザーカーブ詳細設定モードには切り換わりません。

2 バンドを選んで中心周波数とQファクターを調節する

バンドを選ぶ

Aボタンを押す

ボタンを押すごとにLOW、MID、HIGHが切り換わります。



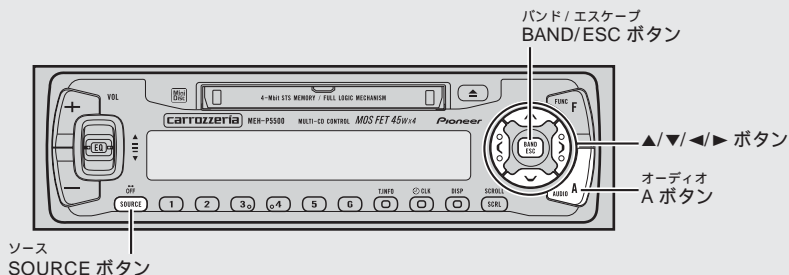
表示(中心周波数 [Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160のいずれか	LOW
200、500、1K、2Kのいずれか	MID
3K、8K、10K、12Kのいずれか	HIGH

中心周波数を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選んだ周波数が表示されます。

音の調節
7

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量
を確かめる

SOURCEボタンを押す
(ここだけで④ 12ページ)

2 調節したいソースに
切り換える

SOURCEボタンを押す
(ここだけで① 8ページ)

3 SLAモードにする

Aボタンを押して選ぶ
(音の調節② 38ページ)



4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、EXT (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、1枚型CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMDおよびAMと交通情報 (その他④ 46ページ) は同じ設定になります。

前にステージがあるような感じにする

FIE

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

1 FIEモードにする

Aボタンを押して選ぶ

(音の調節② 38ページ)



2 FIEをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



FIE が ON のときに表示されます。

3 FIEの周波数を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶：高い周波数を選ぶとき

◀：低い周波数を選ぶとき



100、160、250 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より低い周波数の音が、後ろのスピーカーから出力されます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

4 前後の音量バランスを調節する (音の調節③ 39ページ)

FIEをONにすると、後ろのスピーカーの音が低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスが良くなるように調節してください。

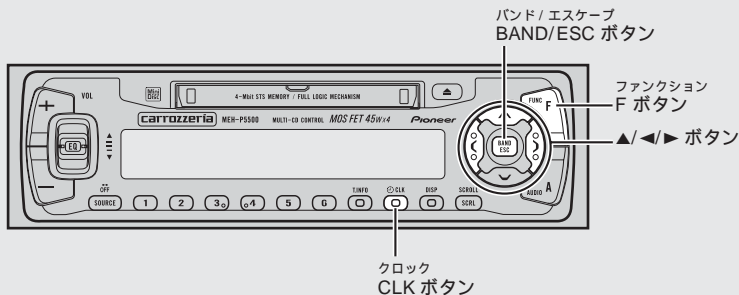
ご注意

FIEをOFFにするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIEをOFFにすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

メモ

FIEとは、Front Image Enhancer (フロント イメージ エンハンサー) の略です。

2スピーカーシステムをお使いの方は、FIEをOFFにしてください。



その他
1

よく使う機能を学習させる

プログラムファンクション

よく使う機能をソースごとに、リモコン(「CD-R600」別売)のPGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、内蔵MDでポーズ、ラジオでBSM、マルチCDでポーズが学習されています。)

内蔵MDのとき

1 プログラムファンクション設定モードにする

F ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

2 学習させたい機能を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



PAUSE (ポーズ)

REPEAT (リピート)

RANDOM (ランダム)

4 学習させた機能进行操作する

リモコンのPGMボタンを押す

(※ はじめに⑦7ページ)

学習させた機能により、操作方法が以下ようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	---
リピート	ON/OFF	---
ランダム	ON/OFF	---

プログラムファンクション (つづき)

ラジオのとき

ラジオでは、初期設定のBSM以外の機能を学習させることはできません。PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2 秒以上押す
BSM	OFF	ON

マルチCD のとき

マルチCDで、プログラムファンクション設定モードにするには、F ボタンを2秒以上押しして詳細設定モードにしてから、F ボタンで選びます。(E 参照 マルチCD 25 ページ) マルチCDで学習できる機能と、PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2 秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	---
リピート	切り換え	---
ランダム	ON/OFF	---
タイトルリスト	タイトルリスト モードになる	---
ITS	記憶	再生

2 時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのときは、時計を表示させることができます。

1 時計を表示する

CLK ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFF します。

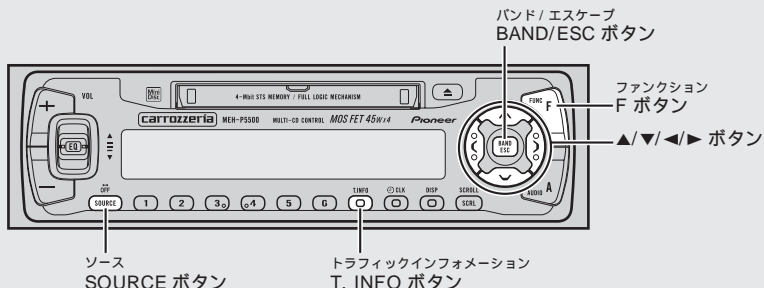


時計表示

メモ

時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後に時計表示に戻ります。

時計を合わせるには(E 参照 その他 47 ページ)



その他
3

交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

T.INFO ボタンを押す



AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 1,629 kHzにするとき
- ◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

T.INFO ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
 交通情報を受信しているときは、交通情報用の音量を設定することができます。
 交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源をOFFにする

SOURCE ボタンを1秒以上押す
( ここだけで① 8ページ)


2 初期設定モードにする


電源がOFFのときに、F ボタンを2秒以上押す



初期設定モードになります。

3 初期設定モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
時計調節モード ( その他⑤)

AUX (外部機器) モード
( その他⑥ 48ページ)

ディマーモード
( その他⑨ 50ページ)

時計調節モードに戻る

メモ


初期設定モードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(解除すると電源がOFFになります。)

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

電源がOFFのときに、F ボタンを2秒以上押す ( その他④ 47ページ)



2 時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



押すごとに時または分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

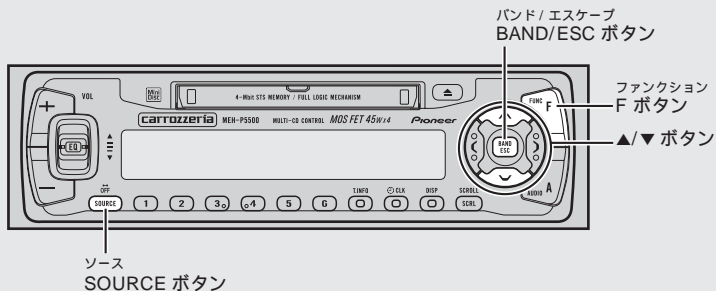
▲ : 時刻を進めるとき

▼ : 時刻を遅らせるとき



分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



その他
6

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機に DAT や VTR などの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売の RCA/IP-BUS インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA 出力のある DAT や VTR を、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器)モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ
(その他④ 47ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND/ESCボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押して選ぶ
(ここだけで① 8ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

その他

7

外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで① 8ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

F ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 外部機器の名称を入力し、記憶させる (☞ マルチCD① 32ページ)

CDタイトル入力の手順3～6を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

その他

8

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を小さくする

リモコンのATTボタンを押す

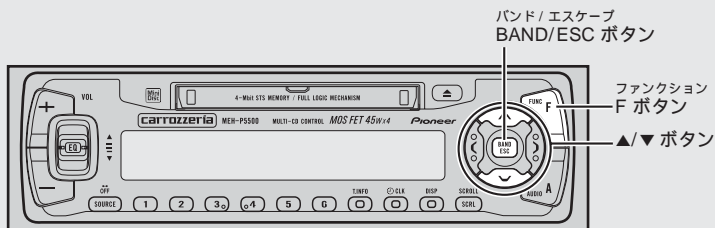
(☞ はじめに① 6ページ)

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのとき点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。



その他
9

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

1 ディマーモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ

(☞ その他④ 47ページ)



2 ディマーの設定をONにする

▲ボタンを押す(▼ボタンでOFF)



BAND/ESCボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

その他
10

ミュート機能について

ミュート

ミュート機能のある製品(パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-D9000」など)と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は「0」です。

ミュート機能が解除されると、自動的にもとの音量に戻ります。

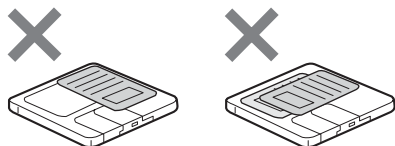
取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。

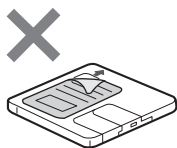


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。

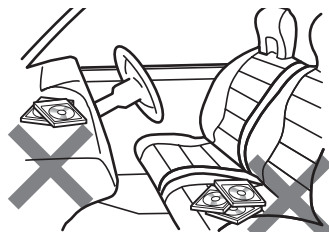


ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかけたり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDにつゆが付いて、正常な再生ができません。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのを待ちください。MDのカートリッジ表面に付いたつゆは柔らかい布で拭いてください。

TOC について

TOC (Table Of Contents) とは、CD・MD・DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

故障かな？と

思ったなら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



チェックしても

直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (☞ その他⑩ 55 ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものと同交換してく ださい。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで② 11 ページ) (☞ ここだけで③ 13 ページ) (☞ ここだけで④ 15 ページ)
	アッテネーターが ON に なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ その他④ 46 ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 39 ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 39 ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 39 ページ)

ラジオ



症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで③ 13 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで③ 13 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで③ 13 ページ)

MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴がついている。	
	録音されていないMDを挿入した。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(☞ ここだけで② 10 ページ)

こんなメッセージが表示されたら

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「NO D-DATA」	ディスク名が入力されていないMDを再生中にディスク名表示に切り換えたとき。	ディスク名表示以外の表示に切り換えてください。 ( 内蔵MD⑥ 19ページ)
「NO TR-DATA」	曲名が入力されていない曲を再生中に曲名表示に切り換えたとき。	曲名表示以外の表示に切り換えてください。( 内蔵MD⑥ 19ページ)
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「ERROR 11、12、17、30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 20、21」	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき。 MDに異常 (損傷している、TOCが入っていないなど) があるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
「ERROR 22、24」	MDに異常 (損傷している、TOCが入っていないなど) があるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 23」	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してください。
「ERROR 01、11、12、17、30、A0」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
「ERROR A1」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生しないとき。	他のMDと交換してください。
「BLANK DISC」	何も録音されていないMDを挿入したとき。	他のMDと交換してください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機の操作の概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよびBAND/ESC ボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMDを接続している場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
BAND/ESC ボタン	-----	バンド (FM/AM) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

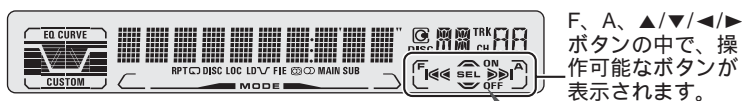
手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	イコライザー カーブ詳細 設定モード
1	それぞれの モードにする	F ボタンを押す	F ボタンを 2 秒以上 押す	電源がOFF のときに、 F ボタンを 2 秒以上 押す	A ボタンを 押す	A ボタンを 2秒以上押す
2	機能を切り換える	F ボタンを押す			A ボタンを 押す	A ボタンを押す (バンド切り換え)
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ ボタンを押す				
		◀または▶ ボタンを押す				
4	それぞれの モードを解除する	BAND/ESC ボタンを押す				

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード** : 内蔵 MD のリピート再生 (☞ 内蔵 MD ② 16 ページ)
 やマルチ CD のスキャン再生 (☞ マルチ CD ⑤ 27 ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作
 できます。
- 詳細設定モード** : PGM (学習) ボタンの記憶 (☞ その他 ① 44 ページ)
 やマルチ CD のタイトル入力 (☞ マルチ CD ① 32 ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード** : 外部機器 (☞ その他 ⑥ 48 ページ) などの設定がで
 きます。
- オーディオ調節モード** : フェーダー/バランス (☞ 音の調節 ③ 39 ページ)
 など、音質に関する調節ができます。
- イコライザーカーブ** : イコライザーカーブを細かく調節できます。
詳細設定モード (☞ 音の調節 ⑥ 41 ページ)

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、
 ディスプレイにガイド表示が出ます。



表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。 また、A ボタンで機能を切り換えることができます。
	▲または▼ ボタンで機能の ON/OFF ができます。 また、F ボタンで機能を切り換えることができます。
	◀または▶ ボタンで項目を選ぶことができます。 また、F ボタンで機能を切り換えることができます。

MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
オーディオシステム
使用ディスク : ミニディスク
信号
フォーマット : サンプル周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16ビット直線
周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N : 94 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)
ダイナミック
レンジ : 92 dB (1 kHz)
チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 9 dBf (0.8 μV/75、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 14 dBf
(1.4 μV/75、モノラル)
S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μV (S/N : 20 dB)
実効選択度 : 50 dB (± 9 kHz)

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 45 W × 4
定格出力 : 22 W × 4
(50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

イコライザー
(3 バンド)
パラメトリック (LOW)
イコライザー : 周波数 : 40/80/100/160 Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(MID)
周波数 : 200/500/1k/2k Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(HIGH)
周波数 : 3.15k/8k/10k/12.5k Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB

ラウドネス

コンター : LOW : 3.5 dB (100 Hz)
3 dB (10 kHz)
MID : 10 dB (100 Hz)
6.5 dB (10 kHz)
HIGH : 11 dB (100 Hz)
11 dB (10 kHz)
(ポリリューム : - 30 dB)

負荷

インピーダンス : 4 (4 ~ 8 使用可能)
プリアウト
最大出力レベル : 2.2 V
出力インピー
ダンス : 1 k

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 155 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 14 (D) mm
質量 : 1.1 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

本機は、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシングコーポレーションの
米国および外国特許に基づく許諾製品です。

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99K00F0J01 > < CRA2938-A >